

### 第3回FC-Cubicシンポジウム

昨年度に引続き、1月25日に第3回 FC-Cubic シンポジウムをテレコムセンタービルの東棟20階の会議室で開催しました。今年度は新たに(株)本田技術研究所様と日野自動車(株)様を組合員として迎え、燃料電池の普及拡大に向けてのオールジャパンの基盤技術研究体制をさらに強化したこともあり、今回のシンポジウムでは、(株)本田技術研究所上席研究員の齊藤信広様より新たに販売される「クラリティ・フューエル・セル」の技術開発に関する特別講演をいただきました。

技術講演および招待講演としては、燃料電池の革新的低コスト化や耐久性の大幅向上のための、技術課題の解決に直結する、電極触媒活性の発現機構ならびに触媒層内の物質移動現象に着目し、その最新解析技術研究に関し、株式会社豊田中央研究所主任研究員の陣内亮典様、京都大学大学院助教の折笠有基様、Queen's University の Professor Gregory Jerkiewicz 様、Lawrence Berkeley National Laboratory の Dr. Adam Weber 様のご講演をいただきました。76名の参加者による昨年同様の活発な議論と、交流会が行われました。

